

Contents Menu

HOME

学会概要

入会案内

研究大会・フォーラム

研究活動報告書

学会会報

会員情報コーナー

学会賞受賞者

学生政策コンペ受賞校

関係諸団体



日本公共政策学会事務局

〒101-8375

東京都千代田区神田三崎町2-3-1

日本大学法学部

松元雅和 研究室

E-mail : jimukyoku[at]ppsa.jp

([at]を@に変更してください。)

研究大会・フォーラム

2009年度研究大会について

研究大会：09年度研究大会プログラム

2009年度研究大会は、

6月13日（土）、14日（日）、龍谷大学深草学舎で開催されました。たくさんの方々のご参加に感謝申し上げます。

=====

6月13日（土）

10:00～11:30 若手報告セッション

A 「政策形成と政党」

(1) Abd Rabou Ahmed Mohamed (北海道大学大学院) “POLICY MAKING APPROACHES: Towards a Better Categorization”

(2) 山本健太郎 (東京大学) 「民主党の人事システムと政党組織」

(3) 永井伸美 (同志社大学大学院) 「イギリス労働党政権下における政府とボランティアセクター」

司 会：岡本哲和 (関西大学)

B 「行政の多元化とジレンマ」

(1) 北島栄儀 (神戸学院大学) 「トランス・サイエンスと民主的審議の制度化について——その試みと課題」

(2) 林 昌宏 (大阪市立大学大学院) 「港湾整備における行政の多元化とそのインパクト——外貨埠頭団体を事例に」

(3) 濱崎宏則 (立命館大学大学院) 「気候変動が水資源環境に及ぼす影響とその適応策についての考察」

司 会：佐藤克廣 (北海学園大学)

C 「規範の変容と責任」

(1) 大前俊一 (明治大学大学院) 「企業責任と行政責任に関する一考察——「CSRの逆説」とジョブ・カード政策、セーフティーネット政策」

(2) 玉井雅隆 (立命館大学大学院) 「欧州におけるナショナル・マイノリティの位相——人権規範からマイノリティ規範へ？」

司 会：伊藤恭彦 (静岡大学)

11:30～12:30 昼休み・理事会

12:30～14:30 テーマセッションI

A 「政策シンクタンクの可能性」

澤 昭裕 (21世紀政策研究所)

小池洋次 (関西学院大学)

鈴木崇弘 (シンクタンク2005・日本)

司 会：大石 真 (京都大学)

B 「政策規範としての持続可能性」

的場信敬 (龍谷大学) 「英国における持続可能な

社会形成と地域ガバナンス・システムの構築」

大橋照枝 (麗澤大学) 「持続可能な社会厚生指標HSM (Human Satisfaction Measure : 人間満足度尺度) と、日本のサステナビリティ」

西村宣彦 (北海学園大学) 「政策規範としての地域持続可能性」

討論者：浅野耕太 (京都大学)

司 会：足立幸男 (関西大学)

C 「条例の実効性確保——地方公共団体における義務履行確保に関する法律要綱私案」

斎藤 誠 (東京大学)

西津政信 (東海大学)

田口一博 (自治総合研究所)

司 会：鈴木庸夫 (千葉大学)

D 「雇用・暮らしと地域の再生——『100年に1度』の不況を受けて」

山崎克明 (北九州市立大学) 「派遣切りとホームレス——北九州の現場から見てきた現状と課題」

光本伸江 (福岡県立大学) 「『地方崩壊』における自治体の役割」

相澤直子 (鳥取大学) 「雇用政策における分権論——ハローワークをめぐる議論をてがかりに」

司 会：今里佳奈子（熊本県立大学）

12：30～14：30 自由公募セッションI

「対外政策と情報・金融システム」

- (1)蘇 俊斌（台湾中国文化大学）「日本の対台政策に関する一考察：中国の要因を中心に」
- (2)大森佐和（国際基督教大学）「世界金融危機と世界金融システムのガバナンス——IMFの役割の検討を中心として」
- (3)土屋大洋（慶應義塾大学）「インターネットにおけるテロとの戦い——米国におけるFISA（外国情報監視法）を事例に」

司 会：宮脇 昇（立命館大学）

14：45～16：45 シンポジウムI

「自治体内政策と政治意思——分権の時代、自立と自律」

増田寛也（内閣官房参与、前岩手県知事）

山田啓二（京都府知事）

嘉田由紀子（滋賀県知事）

司 会：飯尾 潤（政策研究大学院大学）

17：00～17：30 会長記念講演

御厨 貴「公共政策とオーラル・ヒストリー」

17：30～18：00 総 会

18：15～20：00 懇 親 会

6月14日（日）

9：30～11：30 テーマセッションII

A「政策分析と政治」

桑原英明（中京大学）「総合政策学部における政策教育の実践とその成果」

小松崎俊作（東京大学）「新医師臨床研修制度の多元的評価」

秋吉貴雄（熊本大学）「『知識』は政策変容の説明変数になりうるか？」

討論者：中谷真憲（京都産業大学）

司 会：山谷清志（同志社大学）

B「環境リスクのマネージメント」

黒坂則子（同志社大学）「環境リスク管理手法——土壌汚染リスクを例として」

松本充郎（高知大学）「流域環境リスク管理——淀川を事例とした考察」

松田裕之（横浜国立大学）「環境リスク：わかってからでは遅すぎる」

討論者：永松伸吾（人と防災未来センター）

司 会：佐野 亘（京都府立大学）

9：30～11：30 自由公募セッションII

A「政策調整と地方行財政」

(1)高橋 洋（東京大学）「内閣官房の研究：副長官補室による政策の総合調整の実態」

(2)小林 正（富士通総研）「医師不足環境下における自治体病院改革の方向性に関する考察」

(3)長 峯 純 一（関西学院大学）＝湯之上英雄（千葉商科大学）「合併自治体の職員意識調査から見る市町村合併の検証」

司 会：長 峯 純 一（関西学院大学）

B「行政サービスの課題」

(1)塚原 康博（明治大学）「DPC導入病院の経年変化の実証分析」

(2)黒澤 之（横浜みなとみらい21）「産業廃棄物不適正処理に見る行政執行の課題」

(3)野田 遊（長崎県立大学）「行政サービスに対する満足度の規定要因」

司 会：大山耕輔（慶應義塾大学）

11：30～13：00 昼休み

13：00～15：00 テーマセッションIII

A「公共政策教育の質保証と社会的認定——公共領域の再構築と公共政策学教育の社会化」

富野暉一郎（龍谷大学）「『地域公共人材開発機構』による地域資格認証制度」

前田早苗（千葉大学）「日本における高等教育の質保証制度と公共政策教育」

早田幸政（大阪大学）「我が国認証評価システムと米国公共政策大学院アクレディテーションの動向」

討論者：白石克孝（龍谷大学）

司 会：縣 公一郎（早稲田大学）

B「自治体温暖化政策の可能性と限界」

田中 充（法政大学）「自治体温暖化政策の意義と体系——政策マトリックスの視点」

中口毅博（芝浦工業大学）「自治体温暖化政策の実施状況の定量的分析——実施率の変化およびCO2排出量との関係の分析」

馬場健司（電力中央研究所）「自治体温暖化政策の実効性と波及性の分析——地球温暖化対策事

業所計画書制度の自治体間による模倣が持つ意味の吟味」

青木一益（富山大学）「先駆的な自治体温暖化政策の成否をめぐる政策過程分析——複数の事例研究から得られた知見より」

討論者：桑原英明（中京大学）、宇高史明（京都市）

司会：田中 充（法政大学）

C 「分権の時代、基礎自治体は変わる」

小森岳史（武蔵野市）「総合的政策主体としての基礎自治体——武蔵野市の骨格をつくった長期（総合）計画」

青山 崇（多治見市）「総合的政策主体としての自治体を目指して——多治見市の市政基本条例と政策形成プロセスを事例として」

今井 照（福島大学）

司会：横須賀 徹（常盤大学）

D 「自治体の債権管理の現状とその課題」

堤中富和（大津市）

鈴木喜博（浜松市）

森 幸二（北九州市）

討論者：湯川二郎（弁護士）

司会：田中孝男（九州大学）

15：15～17：15 シンポジウムII

「政策課題としての憲法改正」

中山太郎（衆議院議員）

高坂節三（元経済同友会憲法問題懇談会座長）、山本大二郎（読売新聞社）

大石 真（京都大学）

司会：御厨 貴（東京大学）

本サイトはリンクフリーですが、すべてのコンテンツの無断転載・無断利用をお断りします。

Copyright (C) 1998-2009 by Public Policy Studies Association Japan.